

# 鵜三小だより 12月号

令和5年 霜月29日  
各務原市立鵜沼第三小学校

## 【12月の予定】

日	曜	行事等
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	1年校外学習 6年薬物研修
6	水	
7	木	
8	金	みまもり隊感謝の会
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	2年校外学習 4年社会見学
13	水	たいようふれあい教育展
14	木	マジックショー観覧
15	金	6年感謝を伝える会
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	冬休み前集会
27	水	冬季休業日
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

## 「感謝」とは ～ありがとうの気持ち～

「ありがとう」は、漢字で書くと「有り難う」となります。もともとは、「めったにない」という意味の「有り難し」からできた言葉とも言われます。先月号で書いた、見ず知らずの方に車のタイヤをかえていただいた時も、心の底から「ありがたいなあ」と思ったものです。この「ありがたい」と思う気持ちが、そのまま感謝の言葉として「ありがとう」になったのだと実感しました。

早いもので、今週末から12月です。来月は、8日（金）に、みまもり隊の方への「感謝の会」があります。15日（金）には、6年生による「感謝を伝える会」があります。この二つの感謝の会は、日頃からお世話になっている方々に、心の底から「ありがとう」と伝える会です。「ありがとう」という言葉を口にするのは簡単です。「あ」と「り」と「が」と「と」と「う」と5音を発音するだけなのです。でも、皆さん、ただ「ありがとう」と言えば、それで、感謝の思いが伝わるのでしょうか。私は、違うと思います。本当に、心から感謝しているとき、その思いが「ありがとう」という言葉になり、相手に伝わるのだと思います。

朝、皆さんが登校するのを、私は淳先生と共に、東門の横断歩道のところで、出迎えています。その時、みまもり隊の方が、何人も皆さんの登校を見守りながら、学校まで来てくださいます。そして、最後の登校班が、東門をくぐるの見届けて、帰っていかれます。その際、私たちは必ずみまもり隊の方々に「ありがとうございました」と声をおかけします。それは、みまもり隊の方々が、無償（「むしょう」と読みます。ボランティアという意味です）なのにもかかわらず、鵜沼第三小学校の皆さんの安全を見届けてくださっていることに、心の底から「今日も、ありがとうございました」と思っているのです、自然と、感謝の言葉が出るのです。

以前、『「ありがとう」の言葉は、その場を明るくする言葉。「ありがとう」の言葉は、心と心をつなぐ魔法の言葉』と聞いたことがあります。また、『「ありがとう」と言えるとき、それは心が穏やかなとき』とも聞いたことがあります。皆さんは、いったい一日の中で、どれだけ「ありがとう」と言っていますか。言われていますか。

皆さん、「ありがとう」の言葉があふれている、鵜沼第三小学校と一緒にしていきましょう！

## 保護者の方へ お知らせください

12月14日（木）に、本校体育館にて、マジックショーの観覧が行われます。これは、地域の方が、開校50年を迎える本校の子ども達にプレゼントをしたいということで、著名なマジシャンに来ていただけた手配をさせていただきました。この方は、かつてはお子様が、今はお孫さんが本校に通ってみえる方で、いろいろお骨折りをしていただきました。当日は、保護者の方には、ご観覧いただけませんが、是非、本物のマジックを楽しんだお子様から、お話を伺いいただければと思います。

インフルエンザがまた流行り始めました。どうぞご家庭においても、手指消毒、うがいの励行、適宜マスクの着用についてお声をかけていただくとともに、ご自愛いただければと思います。

12月もよろしくお願いたします。